

編集後記

3月、4月号で新たな取組みとして「建設機械施工の安全対策」というタイトルで2カ月にわたって特集を編集したことは記憶に新しいと思いますが、6月、7月号でも2カ月の特集として「建設施工の環境対策」を編集することにしました。

桜前線がサーッと日本列島を駆抜けた後、つつじ、牡丹、石楠花、ふじ、さつきと次々に美しい花々が咲き乱れる1年のうちでも最も花「環境」の良い頃、この編集後記を書いています。

「環境」というキーワードで言えば、2005年は紆余曲折があったものの2月に京都議定書が発効しました。愛知県においては「愛・地球博」が開催され大勢の人が「環境」に配慮された万博会場を訪れています。

こうした中での「環境」特集ですが編集段階では「環境」問題の幅広さ、奥深さを思い知らされました。

そこで6月号では「大気、水、土壌、人、生物、自然等幅広い分野での環境対策事例」等を紹介することとし、7月号では今年度の中心課題である「大気環境（排ガス関連）」を中心に紹介することにしました。当協会の構成メンバーである行政機関、機械メーカー、ゼネコン、専門

工事業者等の取組みを紹介し真剣に「環境」問題に取り組んでいる姿を知っていただければ幸いです。

さて、巷では交通「環境」とも言える大惨事が発生しました。3月、4月号で取上げた「安全」も6月、7月で取上げる「環境」も真剣に対峙しないと改善、解決をみないばかりか大打撃を受けてしまうものと思わざるを得ません。二度と起きてはならない、許すことの出来ない、無念な事故でした。

明るい話題もあります。プロ野球界ではセ・パ交流戦が各地で行われ、ファンを大切にしている経営「環境」の改善、改革が選手の積極、真剣なプレーを生み、大勢の観客を集める結果を生んでいます。

トンネル施工における建設現場の「環境」対策、粉塵低減への取組み等まだまだ本誌に掲載できなかった記事があります。今後、ますます「環境」への取組みを強め、更に充実した次回「環境」特集号が発行されることを願います。

最後に、ご多忙中にもかかわらずご執筆頂きました皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。又、会員各位の皆様ならびに読者の皆様の「環境」へのご理解と実践で次世代に素晴らしい「地球環境」を引継ぐことを期待し編集後記と致します。

(岩本・三柳)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

村松 敏光

編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
照井 敏弘	農林水産省
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
平子 啓二	水資源機構
吉村 豊	電源開発
松本 敏雄	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
内田 克己	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
三柳 直毅	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

7月号「建設施工の環境対策—大気環境」特集（予告）

- ・法制化された排ガス規制等について
- ・建設機械用エンジンの排出ガス、騒音低減対策への取組み
- ・建設機械の排出ガス等について
- ・光触媒を利用した大気浄化吸音型吹付け工法
- ・首都高新宿線換気所の導入事例
- ・環境へ配慮した建設機械の整備性の状況—メーカ及びレンタル業—

No.664 「建設の施工企画」 2005年6月号

〔定価〕1部840円（本体800円）
年間購読料9,000円

平成17年6月20日印刷

平成17年6月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501 ; Fax. (03) 3432-0289 ; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380